

Opening	Phase1	Choice1	Phase1-result	Phase2	Choice2	Phase2-result	Phase3	Choice3	Phase3-result	Phase4	Choice4	Phase4-result	Phase5	
あなたは大学図書館でのアルバイトをはじめたばかりの新人。 あなたは大学図書館でのアルバイトをはじめたばかりの新人・今日の担当はメインカウンターだ。はもう16:30も過ぎて、閉館時間まであと30分。図書館内にはほとんど人もおらず、今日のアルバイトももうすぐ終わりだなと思っていると、カウンターにひとりの学生が飛び込んできた。	学生「明日までに『日本のアニメ映画ヒットの秘密』でレポートを出さなければいけないんだ。今、授業で教わったCiniiでいろいろ検索して、このインタビュー記事がよさそうだと思うんだけど、この雑誌ってうちの大学にある？」	1A『雑誌は地下と2階にあるので、地下と2階を探してみてください』	「わかった」と言って、カウンターを離れた学生。 まずは2階にかけあがっていき、数十分後におりてきたと思ったら地下へ。閉館数分前になって怒ったような形相でふたたびカウンターへ「もう閉館じゃないか！探せなかったよ！」 【GameOver→「どうすればよかったんだろう」】	学生「明日までに『日本のアニメ映画ヒットの秘密』でレポートを出さなければいけないんだ。今、授業で教わったCiniiでいろいろ検索して、このインタビュー記事がよさそうだと思うんだけど、この雑誌ってうちの大学にある？」	1-1A (残りの選択肢)	(Phase1-result)に戻る	「わかった」と言って、3階に駆け上がった学生。数分後にふたたびカウンターに戻ってきた。「OPACで調べられるから、今度からは自分で調べてくださいね」と言われて、このプリントアウトした用紙を渡されちゃったよ。どうしたらいい？」(OPACの『キネマ旬報』表示画面)	3AA 押す	雑誌のおかれている場所を、力いっぱい押してみた！ しかし雑誌架は壁に沿って設置されているのでまったく動かない。 学生(げげんな顔で)「バカなことをしてる時間はないんだけど？」					
	「ロングインタビュー 鈴木敬夫[プロデューサー]が語る：スタジオジブリを支える忘れられない人々」(『キネマ旬報』(1723)(2016年8月) https://ci.nii.ac.jp/naid/40020937825	1B『『キネマ旬報』は映画の雑誌なので『700芸術』のところにあるとおもいます。地下の『700芸術』のコーナーを探してみてください	「わかった」と言って、カウンターを離れた学生。 地下へ行ったものの、数十分もしないうちに、戻ってきてしまった。「『キネマ旬報』は雑誌だと思うんだけど、このコーナーに雑誌はなかったよ」	「ロングインタビュー 鈴木敬夫[プロデューサー]が語る：スタジオジブリを支える忘れられない人々」(『キネマ旬報』(1723)(2016年8月) https://ci.nii.ac.jp/naid/40020937825	2A	(Phase1-result)に戻る	「わかった」と言って、3階に駆け上がった学生。数分後にふたたびカウンターに戻ってきた。「OPACで調べられるから、今度からは自分で調べてくださいね」と言われて、このプリントアウトした用紙を渡されちゃったよ。どうしたらいい？」(OPACの『キネマ旬報』表示画面)	3AB 引く	雑誌架が開いた！ 主人公(これ、こういう仕組みだったのか) しかし探してみると過去1年分しかここには設置されていないらしい。 学生(げげんな顔で)「どういうこと？無駄なことをしてる時間はないんだけど？」					
		1C「この情報だけだとわからないので、3階のレファレンスカウンターに行ってみてください。」	「わかった」と言って、3階に駆け上がった学生。数分後にふたたびカウンターに戻ってきた。「OPACで調べられるから、今度からは自分で調べてくださいね」と言われて、このプリントアウトした用紙を渡されちゃったよ。どうしたらいい？」(OPACの『キネマ旬報』表示画面)	主人公(雑誌記事はCiniiで調べられるけど、実際にその雑誌があるかどうかは、Ciniiじゃわからないのか...) ※OPACで雑誌のありかを探すまでの、雑誌検索の仕方に関する動画など 学生「時間がないんだ。この『キネマ旬報』ってどこにあるの？」	2B	(Phase1-result)に戻る	「わかった」と言って、3階に駆け上がった学生。数分後にふたたびカウンターに戻ってきた。「OPACで調べられるから、今度からは自分で調べてくださいね」と言われて、このプリントアウトした用紙を渡されちゃったよ。どうしたらいい？」(OPACの『キネマ旬報』表示画面)	3BA 真っすぐ	エレベーターがある(画像) 行き止まりなので、戻ることにした					
				主人公(雑誌記事はCiniiで調べられるけど、実際にその雑誌があるかどうかは、Ciniiじゃわからないのか...) ※OPACで雑誌のありかを探すまでの、雑誌検索の仕方に関する動画など 学生「時間がないんだ。この『キネマ旬報』ってどこにあるの？」	2C	(Phase2-Mainルートに戻る)	「わかった」と言って、カウンターを離れた学生。 地下へ行ったものの、数十分もしないうちに、戻ってきた。地下1階にいてマップどおりのところにある雑誌架をみると、たしかに1冊しかおいてない！ 【どうする？】	3BB 左に行く	ブラウジングコーナーと大型図書コーナーがある	【どうする？】				
				主人公(そんなはずは...) 学生「一緒にきてくれよ」といって、主人公とともに地下1階へ。 地下1階にいてマップどおりのところについてみた。(集密書架周辺写真) 【どうする？】	2D『『集密書庫』って書いてありますね。こちらです』と館内マップを示す	3BA 真っすぐ	「わかった」と言って、カウンターを離れた学生。 地下へ行ったものの、数十分もしないうちに、戻ってきた。いぶかしげな顔をしている。「集密書庫？だって？そんなところあるの？この2つの本棚の間に入れそうなどこなんてなかったけど」	3BB 右に行く	壁がある(画像)		4AA さらに左へ	学術雑誌コーナーがある。見てみると教育関連の雑誌しか置いていない。ここには『キネマ旬報』はなさそうだ。(Phase3-Mainルートに戻る)		
											4AB 戻る	もう一度、考え直してみよう(Phase3-Mainルートに戻る)		
												4BA 押す	白い壁を、力いっぱい押してみた！ しかし雑誌架は壁に沿って設置されているのでまったく動かない。 学生(げげんな顔で)「バカなことをしてる時間はないんだけど？」(Phase3-Mainルートに戻る)	(Phase3-Mainルートに戻る)
												4BB 引く	白い壁を引いてみようか探してみると、白(集密書庫の中の画像い壁にドアノブがついている。主人公(でも、これ、『閉架書庫って書いてあるよな...怒られるかな...))と思いつつ、思い切ってドアノブを引いてみたら...開いた！	GOAL
												4BC 戻る	もう一度、考え直してみよう(Phase3-Mainルートに戻る)	(Phase3-Mainルートに戻る)